

採集記録・観察記録

浦幌のウチダザリガニ駆除（2020年）

円子紳一¹⁾

Shinichi MARUKO, 2021. The extermination of *Pacifastacus luniusculus trowbridgii* in Urahoro, eastern Hokkaido, 2020
Bulletin of the Historical Museum of Urahoro, 21: 35.

「浦幌の自然を楽しむ会」によるウチダザリガニ駆除は6年を経過した。この間、2015年から20年までに59回の捕獲作業で3,627匹を駆除した（円子2016, 2017, 2018, 2020）。浦幌川本流で150匹、オベトン川で1,384匹、旧オベトン川で2,093匹だった。

20年は、浦幌川でカニカゴととも網1回、オベトン川でとも網2回、旧オベトン川でとも網2回の駆除作業を行った。7月26日のウチダザリガニ バスターズは、園児1人と小学生3人、大人5人の計9人の参加を得て行われた。例年実施していた酪農学園大学野生動物保全技術実習は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止を余儀なくされた。

7月5日には浦幌川の円山地区でとも網で6匹捕獲し、生息域の拡大が確認された。計測はしなかったものの、3cm程度の小さな個体もいたので、周辺で繁殖しているものと思われる。

全体では駆除回数が5回と過去最少だったのに対して、捕獲数が1,297匹と過去最多となった。一番の要因は旧オベトン川での大繁殖があげられる。2回で、592匹、458匹の計1,050匹にもなった。捕獲場所は旧オベトン川に架かる「森林公園橋」の上流で、森林公園を流れる「宮の沢川」が合流する地点だ。浦幌町立博物館紀要第20号に「ここにはガマが生育していて根元は格好の棲みかとなっていると思われる」と記したが、ガマ科のミクリ（準絶滅危惧種）と判明した。

浦幌町に特定外来生物のウチダザリガニが生息していることを子どもたちに伝える「ウチダザリガニ バスターズ」を2016年から行っているが、これからも継続することで子どもたちに浦幌の自然の一端を知ってもらいたいと思う。

町内の河川でのウチダザリガニによる被害などは確認できていないが、ニホンザリガニとの接触が憂慮さ

れることから、小さな活動であるが引き続き駆除活動を進めて行きたい。

駆除活動の中心となっている「浦幌の自然を楽しむ会」のみなさん、町立博物館の持田誠学芸員、「ウチダザリガニ バスターズ」に参加いただいたみなさんに心から感謝申し上げる。

引用文献

円子紳一. 2016. 浦幌で初めてのウチダザリガニ駆除. 浦幌町立博物館紀要. 16: 9-13.

円子紳一. 2017. 浦幌のウチダザリガニ駆除（2016年）. 浦幌町立博物館紀要. 17: 9-11.

円子紳一. 2018. 浦幌のウチダザリガニ駆除（2017年）. 浦幌町立博物館紀要. 18: 15-18.

円子紳一. 2020. 浦幌のウチダザリガニ駆除（2018・2019年）. 浦幌町立博物館紀要. 20: 31-32.

浦幌町での捕獲数の推移

捕獲年	捕 獲 数			
	合 計	浦幌川	オベトン川	旧オベトン川
2015年	111	93	18	
2016年	200	15	185	
2017年	292	4	288	
2018年	1,186	0	412	774
2019年	541	29	243	269
2020年	1,297	9	238	1,050
計	3,627	150	1,384	2,093

1) 浦幌の自然を楽しむ会 〒089-5634 北海道十勝郡浦幌町字帯富